

平成29年度和歌山県文化功労賞

すぎ はら
杉原

いさお
治

住 所 和歌山県和歌山市
出身地 和歌山県東牟婁郡古座川町
生年月日 昭和9年3月31日

◎ 業績及び経歴

昭和9年七川村（現古座川町）に生まれる。小学生の頃よりハーモニカや蓄音機などで音楽に親しむ。昭和27年に和歌山大学学芸学部音楽専攻に入学し、声楽を学ぶ。卒業後は県立高等学校音楽科教諭、県教育委員会指導主事などを歴任し、平成6年に県立向陽高等学校校長を最後に退職する。

その間、赴任先の高等学校で合唱部を指導する。桐蔭高等学校では、音楽部及び音楽選択の生徒、教員、父母等総勢300人による大合唱とオーケストラをバックにオペラ合唱を県民文化会館大ホールにおいて原語で行い、初回から第11回まで指導する。

昭和35年からは和歌山市民合唱団の指揮者となり、バッハ、ハイドン、モーツァルト、フォーレなどの合唱曲や團伊玖磨作曲の合唱組曲「紀州路」などの大曲、邦人の合唱組曲、ふるさと和歌山の歌など数多くの合唱を指揮する。毎年開催している定期演奏会は第4回から指揮を務めており、昨年11月に開催された節目の第60回定期演奏会において実に57回目を迎えた。

また、和歌山市民合唱団に加え、これまでに上神野日曜コーラス、下津女子高等学校合唱部、東亜燃料合唱団、桜映会合唱部、真砂コーラス、男声合唱団ほえーる、向陽高校コールひまわりなどの指揮を務め、平成2年からは和歌山刑務所篤志面接委員として受刑者のコーラスグループの指導にも力を入れるなど、幅広く県下にある合唱団の育成に尽力している。

なお、平成2年には毎日新聞和歌山版に昭和60年から5年間にわたり連載された「ふるさと讃歌～紀州路百曲～」において構成・コーディネーターを務めた功績が評価され、サントリー地域文化賞を受賞している。

氏の長年にわたる合唱活動を通して、音楽文化の向上と振興に尽力してきた功績は誠に多大である。



■ 現 在

- ・和歌山市民合唱団指揮者
- ・和歌山刑務所篤志面接委員
（合唱クラブ指導者）
- ・和歌山刑務所篤志面接委員協議会副会長
- ・紀州民謡全国大会審査員

◆ 主な表彰歴等

- 平成2年 サントリー地域文化賞
- 平成15年 和歌山県知事表彰
- 平成16年 和歌山刑務所長感謝状
- 平成18年 大阪矯正管区長感謝状
- 平成19年 大阪矯正管内篤志面接委員協議会長感謝状